

## 国際生物学オリンピック日本代表生徒の個別教育に貢献

### ポイント

- ・ 第27回国際生物学オリンピック日本代表に、札幌市の高校生が選抜
- ・ 代表生徒の個別教育を、大学院理学研究院生物科学部門の教員8名が担当
- ・ オリンピックにて見事銀メダルを獲得
- ・ 国際生物学オリンピック日本委員会より感謝状が授与

国際的な科学技術コンテストとして知られる国際生物学オリンピックの2106年大会が、ベトナム共和国（ハノイ）にて開催されました。大会に参加する日本代表生徒4名が選抜され、その一人である中桐裕一郎なかぎりゆういちろう（立命館慶祥高等学校2年生）さんの個別指導を、本研究院生物科学部門の教員8名が担当しました。教員による手厚い指導と、中桐さんの熱意と努力により、見事銀メダルを獲得しました。

### 大会概要

場所/期間：ベトナム共和国（ハノイ）/平成28年7月17日（日）～23日（土）  
参加国：68カ国・地域/263名

### 個別指導の概要

平成28年5月～7月に、本研究院生物科学部門の教員8名が個別教育を担当。

黒岩麻里 教授：分子生物学実験全般、血球計算盤・マイクロメーターの使用法（責任教員）

山口淳二 教授：植物の諸器官の解剖と観察

水波 誠 教授：コオロギ・ザリガニの解剖と器官観察

高田泰弘 准教授：細菌のグラム染色

瀧谷重治 准教授：カイコの解剖

柁原 宏 准教授：クモの解剖、系統分類学学習指導

綿引雅昭 准教授：気孔の観察

荻原克益 准教授：生化学実験全般

## 国際生物学オリンピック (International Biology Olympiad)

国際生物学オリンピック (IBO) は、1990年に現在のチェコ共和国のオロモウツで第1回大会が開催された、生物学に関心を持つ高校生等を対象としたコンテストであり、以下を目的としている。

1. すぐれた生徒を一堂に会させて、刺激をあたえ挑戦させることにより、その能力をのばし、科学者にそだてる。生物学の美しさと様々な意義を明らかにして、とりわけ自然や環境の保護をはかり、社会における生物学の重要性を訴える。
2. 生物学教育に関するアイデアと教材の交換や比較をおこなうことにより、各国の生物教育を向上させる。
3. 国際生物学オリンピックにかかわるさまざまな組織の交流をはかることにより、生物学分野での活動の相互理解をはかる。

国際大会は、毎年7月に開催され、実験問題と理論問題が課される。個人戦であり、成績優秀者には金メダル (参加者のおよそ1割)、銀メダル (同2割)、銅メダル (同3割) がそれぞれ贈られる。

(平成28年7月24日 文部科学省報道発表資料より引用)

## 国際生物学オリンピック日本委員会 (Japan Biology Olympiad Committee)

国際生物学オリンピック日本委員会 (JBO) は、国際大会に派遣する日本代表選考を兼ねた日本生物学オリンピックを開催している。日本生物学オリンピックは単に代表選考のためだけではなく、生物学の持つ面白さ楽しさを体験してもらうことを目的とする全国規模のコンテストであり、20歳未満で大学に入学する前の青少年であれば誰でも参加可能である。生徒らが積極的にチャレンジできるように試験会場を各都道府県に設置している。

この活動を通じて我が国の生徒に対し、生物学への興味喚起と知識の普及を図りつつ、広く科学技術一般への関心の向上と理解の増進を推し進めるとともに、国際大会への参加体験が、将来の科学技術を支える人材の育成にも役立つことを期待している。さらに国際的な研究者・教育関係者の交流により、我が国の生物教育の充実・発展に寄与することを目指している。

(平成28年7月24日 文部科学省報道発表資料より引用)

## お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学大学院理学研究院生物科学部門 教授 黒岩麻里

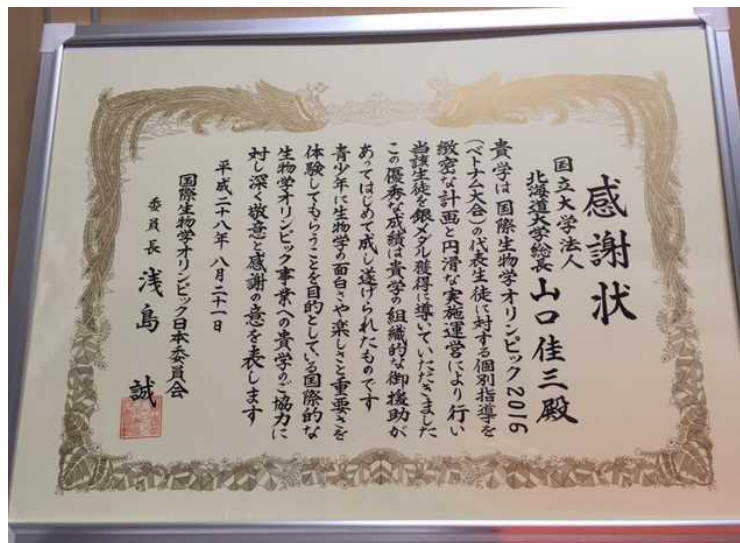
TEL/FAX：011-706-2752 E-mail：[asatok@sci.hokudai.ac.jp](mailto:asatok@sci.hokudai.ac.jp)



中桐さんと指導担当教員



銀メダルと賞状



国際生物学オリンピック日本委員会からの感謝状